

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第30週 (ARIのみ第29週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (30 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。
3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 5 例。4 類感染症：レジオネラ症 2 例。
5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 3 例、百日咳 4 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日南	90歳代	女	肺結核	その他
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0～4歳	女	—	水様性下痢、その他、O血清群不明(VT1)
			5～9歳	女	—	水様性下痢、O26(VT1)
			5～9歳	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
			10歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
		高鍋	5～9歳	女	—	腹痛、水様性下痢、嘔吐、発熱、O血清群不明(VT1)
4類	レジオネラ症	都城	70歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
		日南	70歳代	男	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、その他
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	男	腸管アメーバ症	大腸粘膜異常所見、その他
	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	都城	60歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、DIC、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状
	梅毒	宮崎市	10歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	鼠径部リンパ節腫脹
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳
			30歳代	男	—	持続する咳
			40歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 324 人(定点当たり 20.0)で、前週比 98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病であった。

また、第 29 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,164 人(定点当たり 41.6)で、前週比 103%とほぼ横ばいであった。

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 106 人(3.8)で、前週比 56%と減少した。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

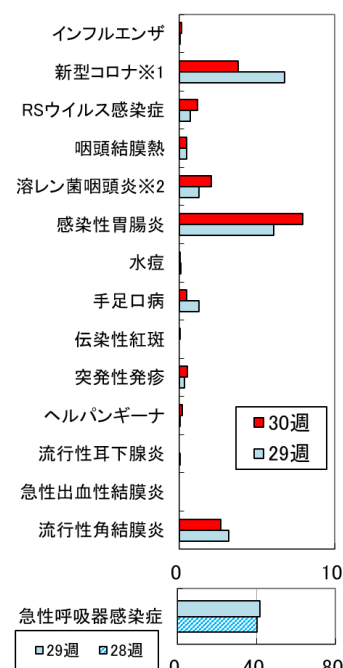
報告数は 31 人(2.1)で、前週比 163%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.6)の約 1.3 倍であった。年齢群別は 4 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は 119 人(7.9)で、前週比 131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (6.0)の約 1.3 倍であった。年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

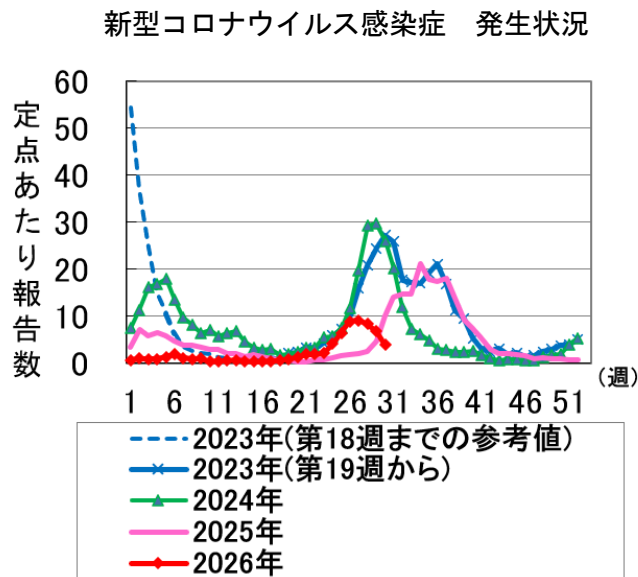
《前週との比較》



定点あたり報告数

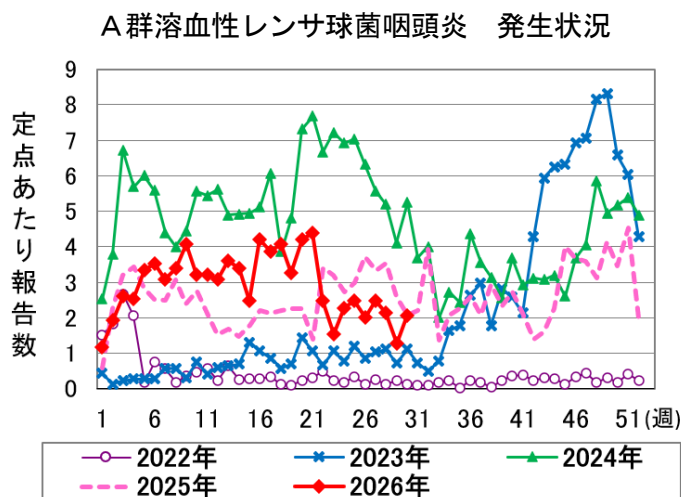
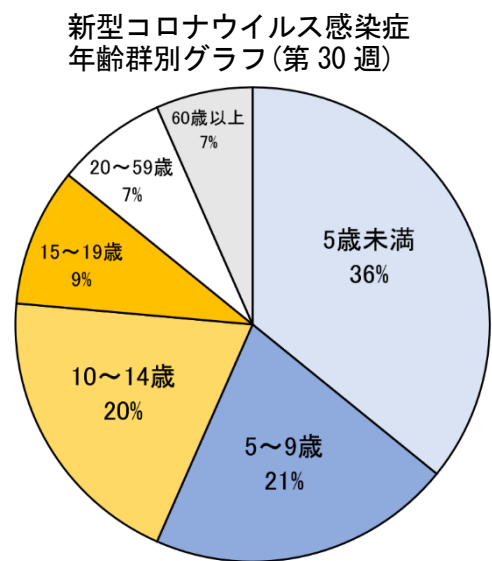
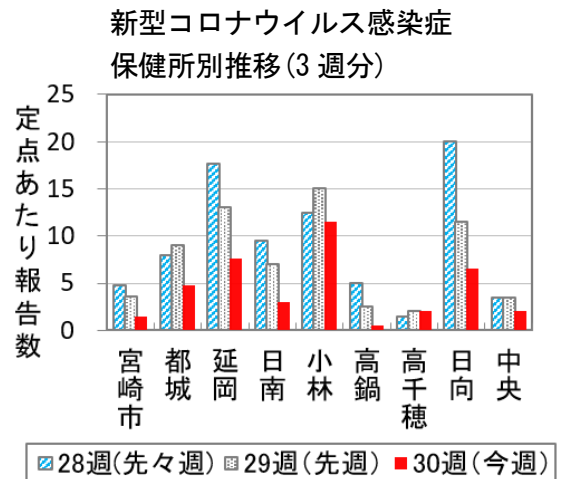
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

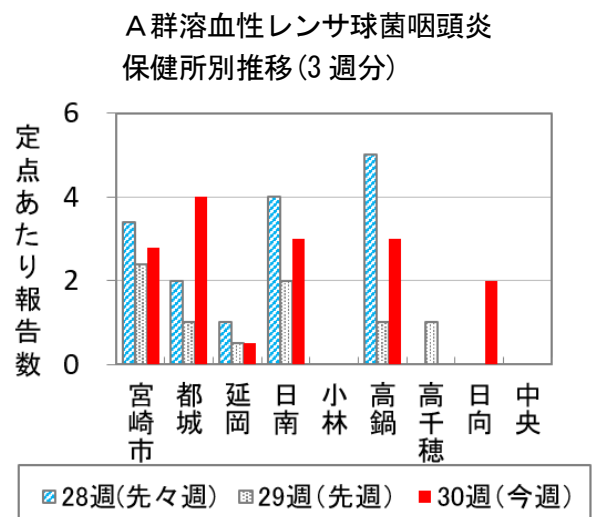


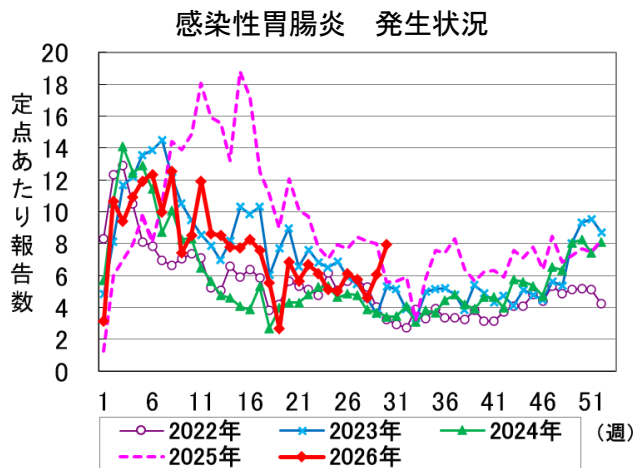
※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更

※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

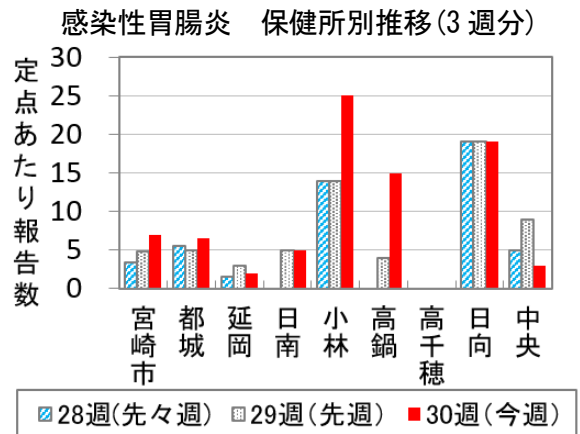


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更





※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更



★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：報告数は 1 例(定点当たり 0.14)で、延岡保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳であった。

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 2 例(定点当たり 0.29)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳が 1 例、5～9 歳が 1 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(14.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(25.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部)

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(第 29 週:7 月 13 日～7 月 19 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		1
パラインフルエンザ ウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		1
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			5
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
パラインフルエンザウイルス3型・ライノウイルス			1
検出せず※2			5
受付検体数			14

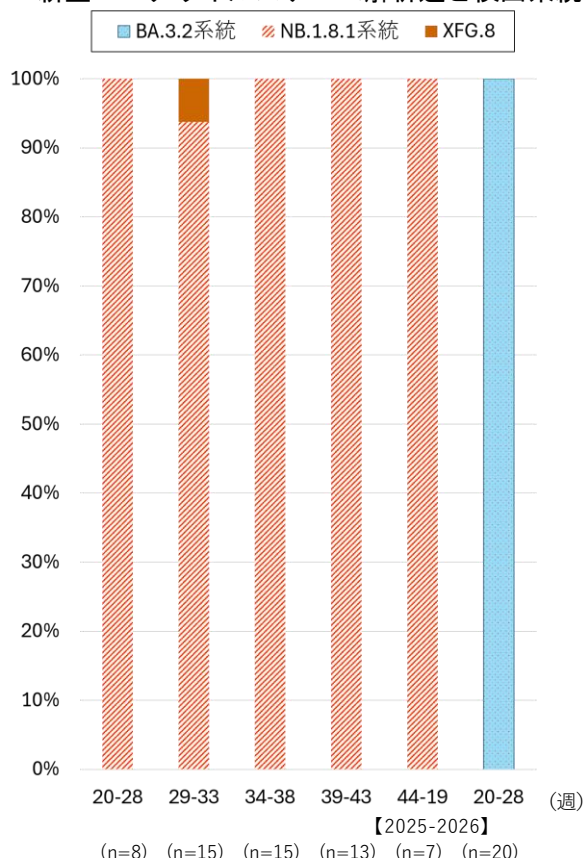
- 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



○ 第20-28週はBA.3.2系統が100%であった。

※ 衛生環境研究所においては、宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、急性呼吸器感染症（ARI）の病原体定点から提出された検体を用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を実施している。
なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

全国 2026 年第 29 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	244 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	126 例		
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	8 例	エムポックス	3 例
	オウム病	1 例	重症熱性血小板減少症候群	6 例	ダニ媒介脳炎	1 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	9 例	マラリア	1 例
	ライム病	1 例	類鼻疽	1 例	レジオネラ症	83 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例	水痘(入院例)	13 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	4 例	梅毒	173 例	播種性クリプトコックス症	3 例
	破傷風	1 例	百日咳	62 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 101%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 99%とほぼ横ばいであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 7,921 人(2.1)で前週比 113%と増加した。佐賀県(12.7)、愛媛県(10.7)、大分県(10.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

手足口病の報告数は 21,078 人(9.4)で前週比 103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (6.7)の約 1.4 倍であった。埼玉県(17.9)、愛媛県(17.3)、神奈川県(14.5)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015-2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

疾病名		第29週	第30週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1	4	1	1	1					1	
	定点当り	0.04	0.14	0.11	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	190	106	13	19	23	6	23	1	4	13	4
	定点当り	6.79	3.79	1.44	4.75	7.67	3.00	11.50	0.50	2.00	6.50	2.00
RSウイルス感染症	報告数	11	18	6	2	2			8			
	定点当り	0.73	1.20	1.20	1.00	1.00	0.00	0.00	8.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	7	7	1	2	1	2		1			
	定点当り	0.47	0.47	0.20	1.00	0.50	2.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	19	31	14	8	1	3		3		2	
	定点当り	1.27	2.07	2.80	4.00	0.50	3.00	0.00	3.00	0.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	91	119	35	13	4	5	25	15		19	3
	定点当り	6.07	7.93	7.00	6.50	2.00	5.00	25.00	15.00	0.00	19.00	3.00
水痘	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.13	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	19	7	1	1	1	1	3				
	定点当り	1.27	0.47	0.20	0.50	0.50	1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	5	8	3	2		1					2
	定点当り	0.33	0.53	0.60	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	3			2		1				
	定点当り	0.07	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	19	16	2		14						
	定点当り	3.17	2.67	0.67	0.00	14.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1			1						
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第29週(07月13日～07月19日)

		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1131	1164	278	154	184	89	119	78	59	122	81
	定点当り	40.39	41.57	30.89	38.50	61.33	44.50	59.50	39.00	29.50	61.00	40.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7
* 先週(第29週)の報告数に一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数 (2026年 第01週～30週 保健所受理分)

2類感染症	結核	79例(2)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	39例(5)					
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病		4例
	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症	9例(2)			
5類感染症	アメーバ赤痢	2例(1)	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		1例
	急性脳炎	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		7例(1)
	後天性免疫不全症候群	4例	侵袭性肺炎球菌感染症	8例	水痘(入院例)		6例
	多剤耐性緑膿菌感染症	2例	梅毒	39例(3)	播種性クリプトコックス症		4例
	破傷風	1例	百日咳	46例(4)	麻疹		1例

()内は今週届出分、再掲